

## 第 131 回卒業証書授与式を行いました (NO.1)

3月21日(木)に、平荘小学校の最後の第131回卒業証書授与式を行いました。卒業生は、多くの来賓の方々や保護者の皆さん、そして教職員・在校生代表の5年生に温かく見守られながら、一つの節目である卒業証書授与式に臨みました。

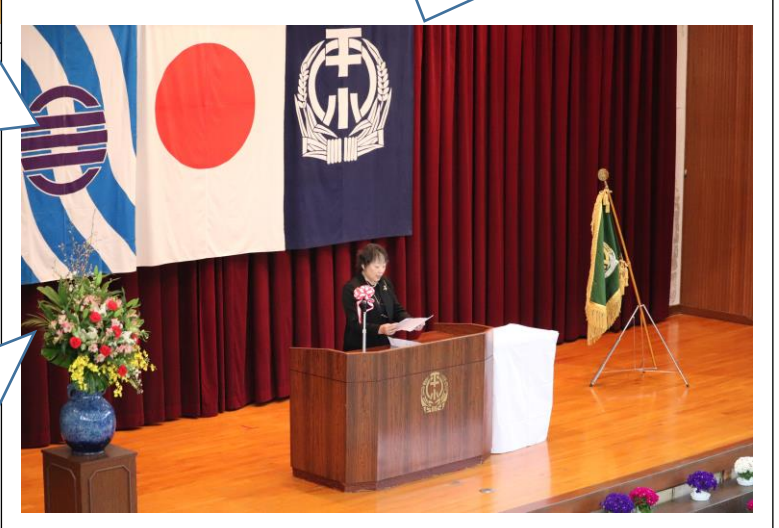


**【卒業証書授与】**  
 子どもたちは、卒業証書を受け取った後、参列者の方に向きをかえ、自分の決意や夢を宣言しました。「私は、将来パティシエになりたいです。そのためには、・・・」や「ぼくは、将来、お父さんやお母さんのような立派な大人になりたいです。そのためには、・・・」等、子どもたちは、しっかりと宣言することができました。

今年度は、平荘小学校最後の卒業証書授与式です。

卒業証書は、六年間の努力の証であることはもちろん、皆さんの成長をひたすら願い、愛情を惜しげもなく注ぎ続けてこられたご家族の真心と、熱心に指導してこられた先生方の熱い思いが込められています。どうか、いつまでも今の気持ちを忘れないで欲しいと思います。

思い起こせば、皆さんの小学校生活の約半分は、コロナ禍の中での生活でした。このコロナ禍を経験したことで、ふだん当たり前に思っていたことが、実は当たり前ではなかったことに気づけた機会でもあったのではないのでしょうか。





今年度、皆さんは、平荘小学校の最高学年として、そして、伝統ある平荘小学校の最後の6年生として、自覚をもって、一つ一つの行事を成功させてくれました。運動会、音楽会、狂言発表会等々、観ている人たちにたくさんの感動を与えてくれました。同時に、下級生にとって頼もしい存在でした。



卒業生の皆さん、六年生に進級した最初の日のことを思い出してください。六年生の教室で、校長先生が皆さんにお話をしました。「この一年をかけて、中学生への準備をしましょう。そして、自立から自律へと成長しましょう。」と。また、『氷山の一角』を例に挙げ、見えていない部分を想像しながら、感謝の気持ちをもって生活しましょう。」という話をしました。

皆さんと過ごした学校生活の中で、いくつか印象に残っていることを紹介します。

一つ目は、4年生で体験した『将棋教室』での学びです。ここでは、「話を聴くこと」は、自分も含めて『人を大切にすることだ』と学びました。

二つ目は、自然学校です。自然学校では、『集合』について学びました。『集合する』ということとは、『集まり合わずことだ』と、時間・気持ち・持ち物・姿勢等々、全員が意識して集まることが大切だと学びました。それは、自分の時間も友だちの時間も大切にすること、つまり、自分も人も大切にすることだと学びました。『自然を大切にすること』や『人を大切にすること』と真剣に向き合った三日間でした。

三つ目は、狂言学習での学びです。本校の伝統である狂言を、皆さんならではの作品に仕上げ、発表することができました。自分を信じ、仲間を信じて演じ切った皆さんの姿は、本当に頼もしかったです。『練習は嘘をつかない』の言葉通り、自分の役割をしっかりと果たすことができました。皆さんの頑張っている姿を誇りに思いました。この狂言学習を通して、山口先生からたくさんのことを教えていただきました。世阿弥のことばである『離見の見』や『見えるところはほんの一部で、本質は見えないところにあります。見えないところを見る視点を持ちましょう。』ということです。このことを決して忘れないでほしいと思います。

本日、卒業の日を迎えた皆さん、一年を振り返ってどうですか。この一年の頑張りが、次へのステップの大きな原動力になります。真面目にコツコツと頑張ってきたことは、やがて芽を出し花を咲かせます。

是非、夢を持ち、その実現に向けて、強い気持ちで精一杯努力を重ねてください。すぐには、結果が出ないこともあるでしょう。でも、努力は無駄にはならないのです。「夢の実現に向け目標を設定し、目標に向かって努力をし続ける。」そんな人になってほしいと心から願っています。そして、周りの人達への感謝の気持ちを忘れず、素直に『ありがとう』、『ごめんなさい』と言える人になってください。そして、「思いやり」をもって過ごしてほしいと思います。『己の欲せざる所、人に施すこと勿れ。』『自分が人からされて嫌なことは、人にはしてはいけません。本校の目指してきた人間尊重である人を大切にすることを、これからも実践し続けてください。

卒業生の皆さん、皆さんの前には様々な可能性を秘めた未来が広がっています。勇気をもってしっかりと一歩一歩を踏み出してください。

そして、人との出会いを大切に、夢に向かって努力を重ねてください。皆さんとの出会いに感謝するとともに、今後の更なる活躍をお祈りします。

